

平成30年度
学生募集要項
〔私費外国人留学生入試〕



弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

① 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
② 募集人員	11
③ 出願の要件	11
④ 出願手続	12
1. 出願期間・出願方法	12
2. 出願書類等	12
3. 留意事項	13
⑤ 入学者選抜方法等	14
1. 大学入試センター試験	14
2. 日本留学試験の受験を要する実施月について	14
3. 日本留学試験の受験を要する科目等	14
4. 個別学力検査等一覧	15
5. 小論文の出題形式	16
6. 実技検査の方法	16
7. 面接の方法	17
8. 試験実施日及び試験時間割	18
9. 試験場	19
⑥ 合格者の発表	19
⑦ 入学手続	19
⑧ 学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ	21
⑨ 入学の時期，入学後の教育	22
⑩ 採点・評価基準，合否判定基準	22
⑪ 日本留学試験に関する問合せ先	24
⑫ 弘前大学の入学者選抜に関する問合せ先	24
⑬ 個人情報の取扱いについて	24

●私費外国人留学生入試日程表

事 項	日 時
出 願 期 間	平成30年 1月22日(月)～1月31日(水) (午後5時必着)
試 験 実 施 日	平成30年 2月25日(日)
合 格 者 発 表	平成30年 3月6日(火) 午後2時 (予定)
入 学 手 続 日	平成30年 3月15日(木) 午前9時～午後4時

① 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

－世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学－

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- － 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- － 自立した個人として、又は多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していこうとする行動力
- － 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

各学部のアドミッション・ポリシー

人文社会科学部

1) 人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では、多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視した教育カリキュラムを提供することによって、地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力、地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い、地域社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

【文化創生課程】

- 人文科学の諸領域（考古学、民俗学、芸術、歴史学、哲学、文学、外国語等）にかかわる専門知識・技能等を習得するのに十分な基礎学力を有する人
- 国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと、深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人
- 地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等への貢献をとおして、地域社会の発展のために積極的に行動できる人

【社会経営課程】

- 社会科学の諸領域（経済学、法学、会計学、経営学、社会学、人類学、統計学、情報科学等）にかかわる専門知識・技能等を習得するのに十分な基礎学力を有する人
- 少子高齢化や人口減少、経済・産業基盤の変化等、現代社会が直面する諸課題の発見と解決に意欲的である人
- 自治体の政策立案や地域産業の育成、地域住民との協働による問題解決等への貢献をとおして、地域社会の発展のために積極的に行動できる人

2) 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果及び調査書の内容を総合して選抜します。

(2) 後期日程

高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査（小論文）の結果及び調査書の内容を総合して選抜します。

(3) AO入試 I

人文社会科学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、個人面接、小論文、学習計画書・調査書の採点結果を総合して選抜します。

・入学前に身に付けておいてほしいこと

人文社会科学部には、文化創生課程、社会経営課程という二つの課程があります。

いずれの課程で学ぶ場合も、高等学校における学習内容は重要です。人文社会科学分野の学問の基礎をなすものとして、国語（現代国語、古文、漢文、国語表現等）や外国語（英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語等）の勉強によって養われるコミュニケーション能力、数学や情報の勉強によって養われる数学的思考力、数的処理能力や情報処理能力、社会（世界史、日本史、地理、現代社会、倫理、政経、倫理・政経等）の勉強によって養われる歴史文化や社会に関する基礎知識を身につけておく必要があります。

1年次には、英語で講義する科目もあります。英語などの外国語の検定資格等に積極的に挑戦するなどして、外国語の力を鍛えておいてください。

教育学部

1) 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、又は多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していかうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していかうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような特徴を持った学生を求めます。

【学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻】

- 小・中学校等の教員として必要な専門力を修得するための基礎的な学力と、実践力を身に付けるために自律的・協働的に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

- 「障害」に関して、教育や福祉、心理、病理など多方面から学ぶための基礎的な学力と、「障害」への関わりを深めていく行動力のある人
- 将来、特別支援学校をはじめとする学校等教員として、特別な支援を必要とする児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】

- 養護教諭として必要な救急処置や保健指導、健康相談等の専門力を修得するための基礎的な学力と、実践力を身に付けるために自律的・協働的に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康問題に高い関心をもち、子どもたちに対し、生涯を通して生命を大切にし、自らの健康を守り高めていける力を身に付けさせたいと願い、養護教諭になりたいという強い意志を持つ人

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

2) 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査、実技や面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では基礎学力を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力などを評価します。また実技では主に技能・判断力・表現力・主体性・協働性を、面接では主に目的・適性・意欲・関心を評価します。

(2) 後期日程

大学入試センター試験、面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、面接を含む総合的な検査及び調査書では主に専攻に対する目的・適性・意欲・関心を評価します。

(3) A O入試 I

出願書類、各専門分野に関する集団討論、個人面接及び実技を総合的に評価して選抜します。集団討論では主に思考力・判断力・表現力・主体性・協働性を、出願書類と個人面接では主に各専門分野に対する目的・適性・意欲・関心を評価します。また実技では主に技能・判断力・表現力・主体性・協働性を評価します。

(4) A O入試 II

大学入試センター試験、出願書類、専門分野に関する小論文、集団討論及び個人面接を総合的に評価して選抜します。主として大学入試センター試験では基礎学力を、小論文では思考力・判断力・表現力を、集団討論ではこれらに加えて主体性・協働性を、出願書類と個人面接では専門分野に対する目的・適性・意欲・関心を評価します。

医学部医学科

1) 医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では、豊かな人間性と高度の医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- 生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組み、知的・人格的に成長していこうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

2) 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書の結果を総合して選抜します。

主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

(2) A O入試Ⅱ

出願書類、大学入試センター試験、面接、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習、ワークショップの結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習及びワークショップでは、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

(3) 学士編入学(第2年次)

出願書類、TOEFL、基礎自然科学・数学、ワークショップ、面接の結果を総合して選抜します。TOEFL、基礎自然科学・数学では基礎学力を、ワークショップでは、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

医学部保健学科

1) 医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では、保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、保健医療専門職が掲げる目的を意識し、社会貢献に意欲がある人、保健医療専門職のための教育を受ける十分な学力と強い意欲・行動力のある人、他人を思いやるやさしさと社会性のある人を求めます。

医学部保健学科には、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻があります。専攻ごとに、次にあげるような学生を求めます。

【看護学専攻】

- 実践の科学である看護学を修めるために必要な基礎学力を有する人
- 思考力・判断力・表現力を発揮し、協働して社会に参画する行動力を有する人
- 自ら健康維持に努め、知識・技能を修め、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【放射線技術科学専攻】

- 入学後に修める教養教育と診療放射線技師養成のための専門教育の基礎となる学力を有する人
- チーム医療の一員として他の医療技術者と協調して参画する行動力のある人
- 生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け、知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】

- 臨床検査技師の知識と技術を修得できる十分な基礎学力を備えた人
- チーム医療の一員として活躍できる協調性を有し、保健医療の発展のために積極的に行動できる人
- 保健医療が進歩発展する中で直面する課題の解決に意欲のある人

【理学療法学専攻】

- 人の健康と体の動きに関心を持ち、理学療法学を科学的に探求できる基礎学力を備えている人
- 尊敬、思いやり、協調を基調とする態度が身につけており、障害者等が抱える様々な問題の解決に努力を惜しまずに取り組むことができる人
- 理学療法士を目指す意志が強く、障害者等のリハビリテーションに貢献したいという意欲が旺盛な人

【作業療法学専攻】

- 作業療法士の知識技術等を修得するのに十分な基礎学力を有する人
- チーム医療の一員として活躍できる協調性を有し、リハビリテーション医療の発展のために積極的に行動できる人
- リハビリテーション医療が進歩発展するなかで直面する課題の解決に意欲ある人

2) 入学者選抜の基本方針

いずれの専攻で学ぶ場合も、高等学校における多くの学習内容が基礎的な知識として必要となります。それぞれの保健医療専門職を目指すためには、国語、外国語（英語ほか）の学習によるコミュニケーション能力、数学、理科（物理、化学、生物ほか）の学習による生命現象を理解する能力、社会（世界史、日本史、倫理、政治、経済ほか）の学習による社会状況を見通す能力の基礎知識を身につけておく必要があります。

(1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。

主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を基準に評価します。

(2) A O入試Ⅱ

大学入試センター試験、面接、小論文及び出願書類（調査書、自己PR書）の結果を総合して選抜します。

主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、小論文では論理的思考能力・表現力等を、面接及び出願書類（調査書、自己PR書）では保健医療専門職者としての資質、適性、意欲等を評価します。

(3) 第3年次編入学

保健医療専門職者としての向上力、意欲等を評価するために、学力検査、小論文、面接及び提出書類の結果を総合して選抜します。

（理学療法学専攻以外では、提出書類は面接の基礎資料です。）

理 工 学 部

1) 理工学部が求める学生像

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探究する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

【数物科学科】

（数車型）

- 数理科学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、数理科学への強い興味を持ち探究心が旺盛で、問題や課題を見だし、豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって世に出ることに意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

（物理型）

- 物理学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、電子や陽子等の極微粒子のミクロな世界から広大な宇宙の世界までを統一的に支配している自然の基本原理の探求に興味を持ち、問題や課題を見だし、先端物理学の社会への還元を目指した工学への応用に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

【物質創成化学科】

- 物質創成化学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、自ら課題を見いだし、物質の構造や反応のしくみを物質の機能と結びつけて探求することに意欲的である人
- 暮らしを豊かにする機能性物質の開発、環境調和を指向した機能性材料、リサイクル技術、省エネルギー・省資源技術に関する諸課題を解決していく研究開発に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

【地球環境防災学科】

- 地球環境防災学に関する諸学問を学ぶ学力を有し、宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学の基礎知識を身につけた上で、課題を見いだし、観測・実験・モデル化など発展的な取り組みに意欲的である人
- 地球に関する科学や工学を通して、地球環境問題の解決や自然災害の防止に資する新たな課題の解決に意欲的である人
- 専門を生かし、さまざまな社会でその一員として学び続ける意欲と行動力のある人

【電子情報工学科】

- 電子情報工学に関する諸学問を学ぶための学力を有し、電子回路やそれらを形作る電子材料、コンピュータの基礎原理やソフトウェアの基本、コンピュータネットワークの動作原理・通信手段やセキュリティ、組込みシステム設計などの学習に意欲的である人
- 電子情報工学の最新技術を身に付けること、および様々な分野においてその成果を活用することに意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を見いだすとともに、課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

【機械科学科】

- 機械科学に関する諸学問を学ぶ学力を有し、医用・福祉、環境・エネルギー、航空宇宙、輸送機械、ロボット、ナノテクノロジー等の科学技術分野で要求される「未来型機械システム」の設計・開発に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を見いだすとともに、課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

【自然エネルギー学科】

- 自然エネルギーに関する諸学問を学ぶ学力を有し、自然や人間社会に深い興味を持ちそれらの知識を身につけることに意欲的である人
- 地域に存在する自然エネルギー源を利用することや、その活用に意欲的である人
- 専門を生かし、新たな課題を見いだすとともに、課題を解決するために学び続ける意欲と行動力のある人

2) 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果および調査書の内容を総合して選抜します。

(2) 後期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果および調査書の内容を総合して選抜します。

(3) AO入試 I

理工学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、自己推薦書、志望理由書、調査書、講義あるいは実験及びその内容に関するレポート、基礎学力に関する試問を含む個人面接の採点結果を総合して選抜します。

(4) 3年次編入学

①推薦選抜

理工学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、面接、志望理由書、推薦書および調査書又は成績証明書の結果を総合して選抜します。

②一般選抜

理工学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心等を評価するという観点から、面接、志望理由書および調査書又は成績証明書の結果を総合して選抜します。

・入学前に身につけておいてほしいこと

理工学部には、6つの学科があります。いずれの学科で学ぶ場合も、問題や課題を見いだす力、解決する力、学び続ける力を身につけるために高等学校における学習内容は重要です。理工学分野の学問を学ぶための基礎的な力として、数学の勉強によって培われる論理的思考力、理科（物理、化学、地学等）の勉強によって培われる自然科学に関する基礎知識、国語や外国語の勉強によって培われる表現やコミュニケーションの能力を身につけておく必要があります。数学と自然科学の基礎知識は、理工学分野を学習するための共通の礎となるものです。基礎となることがらをしっかりと身につけておいてください。

農学生命科学部

1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学および生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力
- 農学および生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科では、それぞれ以下のような特徴のある学生を求めます。

【生物学科】

- 教養教育を基盤とし、生命科学の各分野の専門教育を理解していくために必要な基礎学力を持つ人
- 基礎から応用までの生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲のある人
 - 動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみの解明に意欲のある人
 - 生物の生態や分類に興味を持ち、生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】

- 入学後に修める教養教育や生命科学の専門教育に必要な基礎学力（特に英語・化学・生物）を持つ人
- 生命科学を通して国際社会、地域社会および学問の発展に寄与しようとする行動力を持つ人
- 生命現象の不思議や未知の生物機能について、細胞レベル・遺伝子レベル・分子レベル・原子レベルで解明したり、生物のもつ潜在能力を掘り起こして次世代のバイオテクノロジーを創り出していく意欲のある人

【食料資源学科】

- 入学後に修める教養教育や、食料資源学の各分野の専門教育に必要な基礎学力を持つ人
- 食料資源学の各分野の学修成果を基に国際社会や地域社会に参画しようとする行動力を持つ人
- 食料資源学の各分野に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲のある人

【国際園芸農学科】

- 入学後に修める教養教育や、農業生産領域や食と農業の経済領域の各分野の専門教育に必要な基礎学力を持つ人
- 農業生産領域や食と農業の経済領域を学ぶことを通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力を持つ人
- 農業生産領域や食と農業の経済領域に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲のある人

【地域環境工学科】

- 入学後に修める教養教育や、地域環境工学の各分野の専門教育に必要となる高校の教科全般、特に数学、理科系の基礎学力を持つ人
- 自立した技術者として、多様な人々と協働し、社会的責任を自覚し、継続的に学修し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な知識を習得した技術者として、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

2) 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程・後期日程

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。大学入試センター試験による基礎学力の評価とともに、個別学力検査を課すことによって、総合的学力の優れた人の選抜を目指しています。

(2) AO入試Ⅰ

小論文、面接、自己PR書及び調査書の結果を総合して選抜します。小論文の内容の評価と面接における質疑応答では、農学生命科学部および各学科の「求める学生像」に適している人の選抜を目指しています。

(3) 3年次編入学

小論文、面接、出願書類の結果を総合して選抜します。小論文の内容の評価と面接における質疑応答では、各学科の教育研究内容に関連する専門的基礎素養を持った人の選抜を目指しています。

2 募集人員

募集人員は、各学部・学科・課程・専攻・コース・専修とも若干名です。

学部・学科等			
人文学部	文化創生課程		
	社会経営課程		
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	小学校コース
			国語専修
			社会専修
			数学専修
			理科専修
			音楽専修
			美術専修
			保健体育専修
			技術専修
			家庭科専修
	英語専修		
	特別支援教育専攻		
	養護教諭養成課程		
	学部・学科等		
医学部	医学科		
	保健学科	看護学専攻	
		放射線技術科学専攻	
		検査技術科学専攻	
		理学療法学専攻	
作業療法学専攻			
理工学部	数物科学科		
	物質創成化学科		
	地球環境防災学科		
	電子情報工学科		
	機械科学科		
	自然エネルギー学科		
農学生命科学部	生物学科		
	分子生命科学科		
	食料資源学科		
	国際園芸農学科※		
	地域環境工学科		

※ 国際園芸農学科においては、2年次に1週間程度の「海外研修入門（必修）」を行います。実習経費のうち、往復旅費、宿泊料等については本学の規定の範囲内で大学負担しますが、諸経費等は個人負担となります。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。
 なお、その他の学科においては選択科目となりますが、成績や学習意欲等に基づく面接により各学科5人を上限として、同様の経費負担で履修することができます。

3 出願の要件

入学を志願できる者は、次の(1)、(2)及び(3)の全てに該当する者に限ります。

- (1) 日本の国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法の規定により、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者（注1）
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
 若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
 - ⑤ 個別の入学資格審査により、我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者又は修了見込みの者と認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者（注2）

- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が行う「平成29年度日本留学試験」(6月又は11月)において、本学が課す科目(14ページ⑤)入学者選抜方法等3. 日本留学試験の受験を要する科目等)を受験した者(注3)

(注1) 日本国籍を有していない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます)を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者並びに日本国の永住許可を得ている者は、一般入試の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。

(注2) 出願の要件⑤の入学資格審査を申請する者は、平成29年11月24日(金)までに入試課へ申請用紙を提出してください。

(注3) 平成29年度日本留学試験の第1回、第2回のいずれも受験している場合は、利用する成績は受験者が指定するどちらか一方となります。両方の試験に分けての受験結果は認めません。

4 出願手続

1. 出願期間・出願方法

出願書類等は、平成30年1月22日(月)から同年1月31日(水)17時までの間に、必ず到着するように、添付されている出願用封筒により書留速達で郵送してください。

2. 出願書類等

次の書類を提出してください。

なお、外国語で作成された証明書等には、必ず日本語訳を添付してください。

1	志願票	・添付用紙を使用してください。
2	写真受検票	・添付用紙を使用してください。 ・志願学部学科等、志願者氏名を記入してください。 ・写真貼付欄には、出願前3ヶ月以内に撮影した無帽上半身のもの(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼付けてください。
	「振替払込受付証明書(大学提出用)」貼付台紙	・検定料17,000円を、添付の「払込取扱票」を用いて、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。払込期間は、平成30年1月15日から1月31日までとします。 ・払い込み済みの「振替払込受付証明書(大学提出用)」を添付の貼付台紙に貼付けて提出してください。 (注意) 払い込み済みの検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 1. 検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合 2. 検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合 3. 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 上記1～3の場合は、速やかに弘前大学学務部入試課までお問合せください。 ※外国送金により検定料を納入する場合は「※ 外国送金による検定料の納入方法」により手続してください。
3	受験票返送用封筒	・添付のものを使用してください。 ・受験票の送付に使用するので、確実に受信できる <u>日本国内のあて先</u> を記入し、郵便切手362円分を貼付けて提出してください。
4	合格通知用封筒	・添付のものを使用してください。 ・合格通知書の送付に使用するので、確実に受信できる <u>日本国内のあて先</u> を記入してください。
5	卒業(修了)証明書(日本語訳を添付すること)	・最終出身学校(日本の高等学校に相当する学校)の卒業(修了)証明書(オリジナル)を提出してください。 ・国際バカロレア資格取得者は、国際バカロレア資格証明書(写)を、アビトゥア資格取得者は、一般の大学入学資格証明書(写)を、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、バカロレア資格証明(写)を提出してください。(フランス共和国のバカロレア資格証書が未発行の場合は、下記6の試験成績証明書をもって代えることができます。)

6	成績証明書 (日本語訳を添付) すること	・最終出身学校(日本の高等学校に相当する学校)の成績証明書(オリジナル)を提出してください。 (成績証明書記載事項のうち科目名,成績評価等が符号又は略字により表示されている場合は,必ずその証明を付してください。) ・国際バカロレア資格取得者は,最終試験6科目の成績評価証明書を,フランス共和国のバカロレア資格取得者は,試験成績証明書を提出してください。アビトゥア資格取得者は,上記5の一般的大学入学資格証明書(写)をもって代えることができます。
7	日本留学試験の 成績通知書(写)	・平成29年度日本留学試験の成績通知書のコピーを提出してください。
8	【日本国内在住者】 住民票	・市区町村長の発行する住民票(国籍,在留資格,在留期間が明記されたもの)を提出してください。(コピー不可)
9	【日本国外在住者】 パスポートの写し 等(日本語訳を添付) すること	・パスポート(国籍を証明する部分)の写し,本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうち,いずれか1つを提出してください。

※外国送金による検定料の納入方法

次の要領に従って,検定料17,000円を海外の金融機関より送金してください。なお,送金には時間がかかりますので早めに手続を行ってください。送金は必ず下記期日までに指定口座に到着するように行ってください。

出願期間 平成30年1月31日まで

〈送金関連事項〉

【送金種類】 電信送金
【支払方法】 口座振込
【支払手数料】 依頼人負担
【送金金額】 17,000円
【送金目的】 検定料

〈送金先〉

【金融機関名】 青森銀行
【支店名】 弘前支店
【口座の種類】 普通
【銀行住所】 〒036-8191 青森県弘前市親方町19
【スイフトコード】 AOMBJPJT
【口座番号】 201-1228599
【口座所有者名】 国立大学法人弘前大学 学長 佐藤 敬
【口座所有者住所】 〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
【口座所有者電話番号】 0172-36-2111

- ※ 送金依頼人は志願者の氏名としてください。
- ※ 日本国外から振り込む場合,振込には別途「送金手数料」と「日本国内取引手数料」が必要になります。この送金手数料及び日本国内取引手数料は「依頼人負担」となります。
- ※ 日本国内取引手数料については,銀行窓口で必ず「依頼人負担」と指定してください。もし指定が行われなかった場合,青森銀行で取引手数料が差し引かれるため,弘前大学への入金不足となります。この場合,入学検定料を支払ったとはみなされませんのでご注意ください。
- ※ 送金後,手続書類の(写)を他の出願書類と一緒に提出してください。

3. 留意事項

- (1) 出願書類に記入もれなどの不備がある場合は,受け付けできません。
- (2) 出願書類に虚偽の記載をした場合は,入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類を受け付けた後は,記載事項の変更は認めません。
- (4) 出願後は,出願書類の返還はできません。

5 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、「平成29年度日本留学試験」の成績と本学で実施する学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行います。

1. 大学入試センター試験

各学部とも大学入試センター試験を免除します。

2. 日本留学試験の受験を要する実施月について

受験を要する日本留学試験の実施月は、平成29年6月又は11月とします。

3. 日本留学試験の受験を要する科目等

学部・学科等		科目						選択方法	出題言語	
		日本語	総合科目	数学 (コース)	理科					理科の 受験科目数
物理	化学				生物					
人文学部 社会科学部	文化創生課程 社会経営課程	◎	◎	◎1又は2					日本語 又は 英語	
教育学部	養成課程 学校教育課程 特別支援教育専攻	◎	◎	◎1又は2				総合科目 又は 理科を選択	日本語 又は 英語	
		◎		◎2	○	○	○			○から2科目
	養護教諭養成課程	◎	◎	◎1又は2				総合科目 又は 理科を選択		
		◎		◎1又は2	○	○	○			○から2科目
医学部	医学科	◎		◎1又は2	◎	◎		◎を2科目	日本語	
	保健学科	看護学専攻	◎		◎1又は2		◎	◎		◎を2科目
		放射線技術科学専攻	◎		◎2	◎	◎			◎を2科目
		検査技術科学専攻	◎		◎1又は2	○	○	○		○から2科目
		理学療法学専攻	◎		◎1又は2	○	○	◎		◎生物必修、 さらに○から 1科目
		作業療法学専攻	◎		◎1又は2	○	○	○		○から2科目
理工学部	数物科学科								日本語	
	物質創成化学科									
	地球環境防災学科	◎		◎2	◎	◎		◎を2科目		
	電子情報工学科									
農学生命科学部	機械科学科								日本語 又は 英語	
	自然エネルギー学科									
	生物学科									
	分子生命科学科	◎		◎1又は2	○	○	○	○から2科目		
	食料資源学科									
	国際園芸農学科									
	地域環境工学科									

注) ◎印は必修科目, ○は選択科目を表します。

4. 個別学力検査等一覧

学 部 ・ 学 科 等		学力検査	小論文	実技	面接	
人文学部 社会科学部	文化創生課程 社会経営課程		○		○注1)	
	教育学部 学校教育教員養成課程	小学校コース		○		○
初等中等教育専攻 中学校コース		国語専修 社会専修 数学専修 理科専修		○		○
		音楽専修 美術専修			○	○
		保健体育専修 技術専修 家庭科専修 英語専修		○		○
		特別支援教育専攻		○		○
養護教諭養成課程			○		○	
医学部	医学科	○注2)	○		○	
	保健学科	看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻		○	○注3)	
理工学部	数物科学科				○注4)	
	物質創成化学科					
	地球環境防災学科					
	電子情報工学科					
	機械科学科 自然エネルギー学科					
農学生命科学部	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科		○		○	

注1) 人文学部社会科学部の面接では、英語の基礎学力に関する試問を含みます。

注2) 医学部医学科の学力検査は、「英語」の筆記試験を行います。

注3) 医学部保健学科の面接では、基礎学力に関する試問を含みます。

注4) 理工学部の面接では、基礎学力に関する試問を含みます。

5. 小論文の出題形式

小論文は、与えられた課題について日本語で論述させる。(制限字数 800 字)

なお、小論文を課す学部・学科等については、前ページのとおりとします。

6. 実技検査の方法

実技検査を行う学部・課程等及び実施方法等は、次のとおりです。

学部・課程等				実施方法等
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 中 等 教 育 専 攻	中 学 校 コ ー ス	<p>音楽専修</p> <p>I. 次の①～③の全項目を受験する。</p> <p>①コールユーブンゲン第1巻全曲から当日指定された1曲を歌うこと。</p> <p>②ツェルニー100番練習曲集, ツェルニー30番練習曲集, ツェルニー40番練習曲集の中から, 任意の1曲(楽譜持込可)を演奏すること。</p> <p>③声楽又は楽器(ピアノを除く)のいずれかを暗譜で演奏すること。曲目は自由, 演奏時間は原則として10分以内で, 場合により途中で止めることがある。演奏曲目の総譜を当日持参し, 試験担当者に提示すること。楽器を演奏する場合は, 各自楽器を持参すること。</p> <p>なお, 共演者を必要とする場合は, 受験者側で用意し, 必ず当日同伴とする。また, 事前にその旨を入試課に連絡すること。</p> <p>II. 実技のあと, 質疑応答を行う。</p>
			美術専修	<p>美術実技は次のとおりとする。(3時間)</p> <p>デッサン……鉛筆デッサンの用具を持参してください。 (イーゼル, カルトンは不要)</p>

7. 面接の方法

面接を行う学部・学科等及び実施方法等は、次のとおりです。

学 部 ・ 学 科 等			実 施 方 法 等	
人文学部 社会科学部	文化創生課程		複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 (英語の基礎学力に関する試問を含む)	
	社会経営課程			
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻 中学校コース	小学校コース	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。
			国語専修	
			社会専修	
			数学専修	
			理科専修	
			音楽専修	
			美術専修	
			保健体育専修	
			技術専修	
			家庭科専修	
	英語専修			
特別支援教育専攻				
養護教諭養成課程				
医学部	保健学科	医学科	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分程度とする。 (保健学科では、基礎学力に関する試問を含む)	
		看護学専攻		
		放射線技術科学専攻		
		検査技術科学専攻		
		理学療法学専攻 作業療法学専攻		
理工学部	数物科学科		複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり20分程度とする。 (基礎学力に関する試問を含む)	
	物質創成化学科			
	地球環境防災学科			
	電子情報工学科			
	機械科学科 自然エネルギー学科			
農学生命科学部	生物学科		複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。	
	分子生命科学科			
	食料資源学科			
	国際園芸農学科			
	地域環境工学科			

8. 試験実施日及び試験時間割

学部・学科等		月日（曜日）	2月25日（日）			
人文学部 社会科学部	文化創生課程		小論文 9:00～10:40	面接 11:30～15:00		
	社会経営課程					
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校コース	小論文 9:00～11:00	面接 11:30～15:00		
		国語専修				
		社会専修				
		数学専修				
		中等学校コース	理科専修	実技検査・面接 9:00～15:00		
			音楽専修			
			美術専修	小論文 9:00～11:00	面接 11:30～15:00	
			保健体育専修			
			技術専修			
			家庭科専修			
英語専修						
特別支援教育専攻						
養護教諭養成課程						
医学部	医学科		英語10:00～11:00, 小論文11:30～12:30, 面接13:00～15:00			
	保健学科	看護学専攻	小論文 11:30～12:30	面接 12:45～15:00		
		放射線技術科学専攻				
		検査技術科学専攻				
		理学療法学専攻				
作業療法学専攻						
理工学部	数物科学科	/	面接 14:00～17:00			
	物質創成化学科					
	地球環境防災学科					
	電子情報工学科					
	機械科学科					
自然エネルギー学科						
農学生命科学部	生物学科	小論文 11:30～13:00	面接 14:00～17:00			
	分子生命科学科					
	食料資源学科					
	国際園芸農学科					
	地域環境工学科					

- (注) 1. 受験者は、試験当日、「弘前大学受験票」及び「日本留学試験受験票」を必ず持参してください。
2. 試験当日は、同試験会場において一般入試（前期日程）の入学試験も実施しておりますので、ご注意願います。

9. 試験場

学部等	試験場
人文社会科学部	弘前大学総合教育棟
教育学部	弘前大学教育学部
医学部医学科	青森県立弘前高等学校
医学部保健学科	弘前大学医学部保健学科
理工学部	弘前大学理工学部
農学生命科学部	弘前大学農学生命科学部

- 注) 1. 志願者数の関係で試験場を変更した場合は、受験票送付の際に通知するので、注意してください。
2. 試験場へ入場の際は、「弘前大学受験票」のほかに、「日本留学試験受験票」も提示し、確認を受けた上で、入場してください。

6 合格者の発表

- (1) 合格者の受験番号は、平成30年3月6日（火）午後2時（予定）に本学大学会館前掲示場に発表するとともに、合格者本人に通知します。また、次のアドレス（URL）<http://daigaku.jp/hirosaki-u/>（携帯電話及びパソコン）からも確認することができます。（通信料は各自の負担となります。）
- なお、電話等による可否の問合せには一切応じません。
- (2) 合格者には、合格発表後速やかに「合格通知用封筒」に記載されたあて先に合格通知書及び入学手続書類を送付します。

7 入学手続

- (1) 入学手続の方法
- 入学試験に合格した者は、郵送又は持参により、入学手続を行ってください。期日に手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

郵送の場合	平成30年3月6日（火）から平成30年3月14日（水）午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。 〔郵送先〕：弘前大学学務部入試課
持参の場合	入学手続日時：平成30年3月15日（木）午前9時～午後4時 ※手続会場については、合格通知書送付の際にお知らせします。

- (2) 入学手続の際に納付する入学金

入学金 282,000円（予定）	合格通知の際に、振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。
------------------	-----------------------------------

- ※ 授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）になります。納付期限は、前期分4月30日、後期分10月31日となっておりますが、本学では、前期分授業料を入学手続時に納付いただくようお願いしております。（前・後期分の一括納付もできます。）なお、授業料については、上記「入学金」と併せて、本学所定の振込用紙により納付できます。
- ※ 入学時までに入学金及び授業料が改定された場合、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料及び授業料については免除・徴収猶予制度があります。

①「入学料」 徴収猶予	経済的理由によって納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき選考の上、徴収猶予（延納）を許可されることがあります。
②「授業料」 免除・徴収猶予	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき選考の上、授業料免除（全額又は半額）・徴収猶予（延納又は月割分納）を許可されることがあります。

合格発表から入学手続日までの期間が短いので、免除・徴収猶予を希望する者は、あらかじめ（合格発表前であっても）申請書類を請求し、記入した申請書類に同一生計者の所得証明書をはじめとする必要書類を添えて、入学手続時に申請してください。

◆郵送による申請書類の請求

請求する封筒の表に「入学料徴収猶予申請書類請求」又は「授業料免除等申請書類請求」と朱書きし、「**角形2号の返信用封筒**」及び「**受験者氏名、志願学部学科、連絡先電話番号（携帯電話番号可）**」を明記したメモを同封の上、送付してください。

- (1) 返信用封筒には「宛先（受験者の住所・氏名）」を記入し、205円分（速達の場合は485円分）の切手を貼ってください。ただし、入学料と授業料の両方の免除等申請書類を請求する場合は、250円分（速達の場合は530円分）の切手になります。

- (2) 入学料徴収猶予・授業料免除等申請書類請求期間

平成30年1月19日～

※ 入学料徴収猶予申請書類の提出期限は入学手続日ですので、早めに請求してください。

◆窓口での申請書類の受取

平成30年1月19日から学生課窓口でも配付します。できるだけ受験者本人が受け取るようにお願いします。窓口では受験者であることを申し出てください。

受験者氏名、志願学部、連絡先電話番号の記入が必要です。

◆申請書類の請求先（問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学学務部学生課 生活支援グループ
電話：0172（39）3117
時間：平日9：00～17：00（ただし、平成30年2月23日、3月9日及び3月12日を除く）

※ 申請書類の配付は文京町地区の「学務部学生課」のみで行います。

※ 平成30年2月23日、3月9日及び3月12日は個別学力検査の準備及び実施のため不在となります。窓口での申請書類受取及び電話照会ができませんので注意してください。

⑧ 学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ

入寮を希望する場合は、事前に「入寮希望調書」等を提出する必要があります。

以下の方法により必要書類を取り寄せ、期日までに提出してください（受験区分によっては、入学試験日・合格発表日よりも前に受付期間が設けられている場合がありますので、ご注意願います）。

〔1〕 必要書類の請求方法

① 郵送により請求する場合

- 往信用封筒の表に「入寮案内請求」と朱書きしてください。
- 往信用封筒の裏に「住所」、「氏名」、「性別」を記入してください。
- 返信用封筒（長形3号、返信先住所・宛名記入、切手92円分貼付）を同封してください。

② 弘前大学ホームページから取得する場合

- 所定の様式等をダウンロードしてください。

③ 入寮案内等の発送並びにダウンロード開始は、平成29年11月20日（月）からです。

〔2〕 資料の請求先（入寮に関する問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 学生支援グループ
電話：0172 (39) 3107・3115

〔3〕 入寮希望調書等の受付期間（最終日17時必着）

平成29年12月1日（金）～平成29年12月15日（金）

9 入学の時期，入学後の教育

- (1) 入学の時期は，平成30年4月とします。
- (2) 入学後の教育は，一般の選抜により入学した者と同様に行います。

10 採点・評価基準，合否判定基準

共通	日本留学試験の成績と本学が実施する個別学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合的に評価して行う。
人文 社会 科学 部	<p>小論文及び面接については，次のとおり点数化して評価する。 小論文 100点，面接 100点 合計 200点</p> <p>(小論文) 課題についての自分の考えを的確に述べていること，論旨が明確であること，日本語の文章として適切であること等を総合的に評価し，点数化する。なお，採点は複数の教員で行い，平均点を得点とする。</p> <p>(面接) 面接をとおして志望学部・課程への関心，意欲，適性等を客観的に評価し，複数の教員により点数化し，平均点を得点とする。</p>
教 育 学 部	<p>小論文，実技及び面接については，次のとおり点数化して評価する。 小論文又は実技 100点，面接 100点 合計 200点</p> <p>(小論文) 論述の内容が，与えられた課題に則しており，論理的であること，自分の考えや意見が明確であること，また言葉づかいが正確であること等を総合的な評価の基準とする。</p> <p>(実技) 音楽に関する基礎的な能力を採点評価する。(音楽) 基本的な描写能力を採点評価する。(美術)</p> <p>(面接) 志望専攻への動機・興味・関心・意欲・資質等を複数の教員で総合的に採点評価する。</p>
医 学 部 医 学 科	<p>(日本留学試験) 受験を要する科目の合計点を5段階評価する。 (英語) 英語に関する基礎的な学力を採点評価する。 (小論文) 課題についての自分の考えを明確に論述しているかどうかを日本語能力も含め，複数の教員が総合的に採点評価する。 (面接) 医学への関心，意欲，適性等を複数の教員が評価する。</p> <p>日本留学試験，英語，小論文，面接それぞれをA，B，C，D，Eの5段階評価し，D，Eの場合は不合格とする。</p>

<p>医 学 部 保 健 学 科</p>	<p>日本留学試験、小論文及び面接の結果を総合して行う。 A, B, C, D, Eの5段階評価とする。</p> <p>(日本留学試験) A, B, C, D, Eの5段階評価とする。</p> <p>(小論文) 複数の教員で採点し、A, B, C, D, Eの5段階評価とする。</p> <p>(面接) 複数の教員で行い、A, B, C, D, Eの5段階評価とする。</p>
<p>理 工 学 部</p>	<p>面接については、次のとおり点数化して評価する。 面接 100点</p> <p>(面接) 志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性及び基礎学力を客観的に複数の教員で評価する。</p>
<p>農 学 生 命 科 学 部</p>	<p>小論文及び面接については、次のとおり点数化して評価する。 小論文 200点, 面接 200点 合計 400点</p> <p>(小論文) 課題について題意を適切に理解し、自分の考えや意見を的確に論述しているか等について複数の教員で総合的に採点評価する。</p> <p>(面接) 志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性を客観的に評価し、複数の教員が採点した結果を基に、総合的に判定する。</p>

11 日本留学試験に関する問合せ先

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29
独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課
電話 03 (6407) 7457
FAX 03 (6407) 7462
E-mail eju@jasso.go.jp

12 弘前大学の入学者選抜に関する問合せ先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学 学務部 入試課
電話 0172 (39) 3122・3123

13 個人情報の取扱いについて

志願者から提出いただきました個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用させていただきます。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

添 付 様 式 〔私費外国人留学生入試用〕

	出 願 書 類	所定用紙No.
1	志 願 票	No. 1
2	写 真 票 受 験 票 「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙	No. 2
3	払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・ 振替払込受付証明書（お客さま用）	No. 3
4	出願用封筒	
5	受験票返送用封筒	
6	合格通知用封筒	

弘前までの交通案内

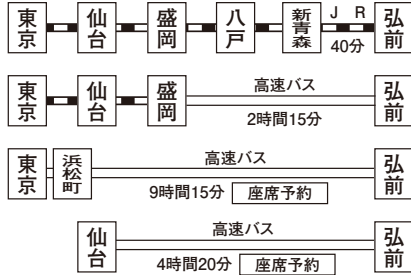
札幌・函館から



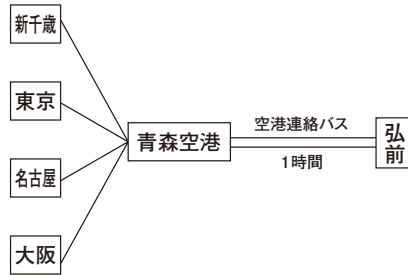
新潟・秋田から



東京・仙台・盛岡・八戸から

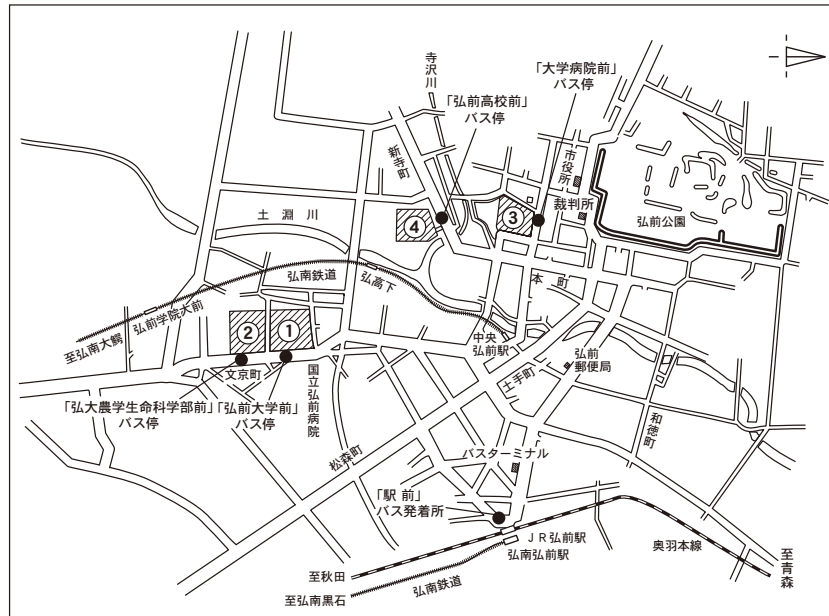


空路



試験場略図 (弘前市内)

- ① 人文社会科学部試験場, 教育学部試験場
- ② 理工学部試験場, 農学生命科学部試験場
- ③ 医学部保健学科試験場
- ④ 医学部医学科試験場



受験についての問合せ先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学 学務部 入試課
電話 0172(39)3122, 3123

弘前大学 入試情報
携帯電話サイト



<http://daigakuic.jp/hirosaki-u/>